

県立広島大学大学院

総合学術研究科 学生募集要項

◇指導教員及び研究分野◇

情報マネジメント専攻(修士課程)

令和9(2027)年度募集

令和8(2026)年5月

県立広島大学

指導教員及び研究分野
【情報マネジメント専攻 修士課程】

出願を希望する者は、指導を受けようとする教員と出願前に入学後の研究や授業科目の履修計画等について、必ず相談してください。下記の「指導教員」欄に記載のメールアドレスに連絡してください。

【県立広島大学 本部事務部入試課】

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号

TEL : 082-251-9540 FAX : 082-251-9545 e-mail : puhnyusi@pu-hiroshima.ac.jp

分野	職名	指導教員 研究分野 問い合わせ先	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
情報システム分野	教授	市村 匠 計算知能システム研究 ichimura @pu-hiroshima.ac.jp	情報技術の急速な進化に伴い、膨大なデータを収集し蓄積している我々の生活において、有用な情報を抽出する課題がある。この課題に対し、計算知能（Computational Intelligence、CI）の研究分野におけるアルゴリズムの研究開発が求められている。本研究室では、人間を含む生命や社会の持つ適応性、計算プロセスをモデル化し、コンピュータを用いて実装し、獲得した知識を可視化する研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Deep Learningに関する研究 ・ ニューラルネットワークに関する研究 ・ 人工免疫システムに関する研究 ・ 自己組織化マップに関する研究 ・ 進化計算に関する研究 ・ アリコロニー最適化に関する研究 ・ 強化学習に関する研究 ・ 感情指向型インタフェースに関する研究 ・ インテリジェントスマートフォンによる情報可視化研究
	教授 ★	折本 寿子 環境情報処理研究 orimoto @pu-hiroshima.ac.jp (生命システム科学専攻博士課程後期（環境科学分野）指導教員)	現実の自然環境において音に着目し、不規則で不明確な音環境システムを確率的に捉える情報処理法について研究する。ベイズ定理を用いた方法論の考察と実音環境に適応するフィルタリング開発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高次相関情報を適応した信号情報処理 ・ マイクロフォンアレーを用いた音源追跡 ・ 音と振動情報を用いた機械の異常診断法
	教授 ★	重安 哲也 応用情報システム研究 sigeyasu @pu-hiroshima.ac.jp (生命システム科学専攻博士課程後期（環境科学分野）指導教員)	コンピュータネットワークを活用した情報システムについて研究する。具体的には、ワイヤレスネットワークによって情報端末を接続する際の通信効率の良いネットワークアルゴリズム等について取り扱う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワイヤレスセンサーネットワーク ・ 被災情報収集システム ・ 無線 LAN におけるパケット衝突回避アルゴリズム

★ 生命システム科学専攻博士課程後期への進学が可能です。
 生命システム科学専攻博士課程後期の受験に関しては、当該専攻の学生募集要項を参照してください。

分野	職名	指導教員 研究分野 問い合わせ先	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
情報システム分野	教授	肖 業貴 適応情報システム研究 xiao @pu-hiroshima.ac.jp	情報通信システム等における様々な信号や雑音に対する解析・対策が必要である。しかも、信号や雑音自身とシステムの特徴が時間とともに変化するのが通常である。そのような変化に適応できる知能的アルゴリズムやシステムの研究開発を行う。具体的には、線形性のみならず、非線形性にも対応できるメカニズム・パラダイム（高度なニューラルネットワークを含む）を研究開発し、様々な分野への応用・実用化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 非線形適応ノイズキャンセラーと骨導音を用いた音声復元 能動騒音制御システムの高度化、高効率化および実用化 振動の適応検出・監視および異常診断に対する知能情報システムの研究開発 ソフトコンピューティングの手法を用いた地震、日射量、経済等の時系列データの解析と予測
	教授	陳 春祥 情報ネットワーク研究 chen @pu-hiroshima.ac.jp	安全かつ快適なネットワークサービスを提供するため、システムの運用管理・マルチメディアサービス品質保証並びに新世代ネットワークシステムにおける理論的及び実践的研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 情報ネットワークセキュリティに関する研究 ネットワークシステム構築管理技術 マルチメディア通信におけるサービス品質（QoS）に関する研究 ネットワークアプリケーション開発 新世代ネットワークアーキテクチャに関する研究
	教授	野呂 正明 分散システム研究 noro @pu-hiroshima.ac.jp	クラウド環境やIoTのような分散システムは開発、運用管理の両面で幅広い分野の技能が必要になる。これはシステム導入や性能改善の敷居を上げている。この敷居を低下させるための研究開発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> IoTシステムのノーコードプログラミング オープンソースハードウェア向け組み込みOS ネットワークトラフィック解析結果によるシステムの制御
	教授 ★	韓 虎剛 知的情報システム研究 hhan @pu-hiroshima.ac.jp (生命システム科学専攻博士課程後期（環境科学分野）指導教員)	制御理論、ファジィ理論などをバックグラウンドに、適応ファジィ制御システムに関する設計と解析を行う。最近では、T-Sファジィモデルや多項式ファジィモデルなどを用いてシステムを構成する際に、制御対象とモデルとの間の誤差を観測するオブザーバーを設計し、それを制御器の設計に活かす研究に力を入れている。また、提案したアプローチを実システムに応用し、その有効性の検証も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 外乱オブザーバーの構築及びシステム制御への応用 モデル誤差を考慮したT-S/多項式ファジィシステム ファジィモデリングに関する研究 ファジィ理論を用いる意思決定システムに関する研究
	准教授	宇野 健 視覚情報処理研究 uno @pu-hiroshima.ac.jp	情報の視覚化を主とした、マルチメディアシステムの開発と応用に関する研究を行う。実際の企業や官庁との共同開発、運用実験などを通じた、実践的な研究も行う。	<ul style="list-style-type: none"> マルチメディア Web アプリケーションの開発と応用に関する研究 Web アプリケーションの教育への応用に関する研究 IT化によるサービス産業等の生産性向上に関する研究

★ 生命システム科学専攻博士課程後期への進学が可能です。

生命システム科学専攻博士課程後期の受験に関しては、当該専攻の学生募集要項を参照してください。

分野	職名	指導教員 研究分野 問合わせ先	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
情報システム分野	准教授	岡部 正幸 データベース研究 okabe @pu-hiroshima.ac.jp	データからの知識獲得とその活用方法に関する研究を行う。テキスト・画像・センサ信号など多様なデータを対象とした学習アルゴリズムの開発のほか、獲得した知識を活用した情報検索システムの構築にも取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 半教師あり機械学習アルゴリズム 機械学習における判定根拠の可視化 対話型情報検索
情報社会科学分野	教授 ★	富田 哲治 統計モデリング研究 ttetsuji @pu-hiroshima.ac.jp (生命システム科学専攻博士課程後期(環境科学分野)指導教員)	データ解析法は多岐にわたるが、情報損失が少ない効率の良い解析を行うためには、データの特性に応じて、適切な解析法を選択・開発することが不可欠である。経時データ、空間データ、曝露データに対する適切な統計モデルの構築および推測について研究を行い、実学データへの応用を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 経時データ解析 空間データ解析 曝露データ解析 生存時間データ解析
	准教授	広谷 大助 知的生産システム研究 dhiro @pu-hiroshima.ac.jp	ますます巨大化・複雑化する生産システムの設計及び管理・運用に関する研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> かんぱん方式に関する研究 サプライチェーンに関する研究 セル生産システムに関する研究 多能工に関する研究
	准教授	松井 猛 システム最適化研究 tak-matsui @pu-hiroshima.ac.jp	不確実環境下において数値的あいまい性や確率論的不確実性を考慮した数理モデルを構築し、数理モデルに対するシステム最適化による最適解の導出および計算機シミュレーションによる有効性の検証を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 先進的数理最適化手法の開発 不確実性やあいまい性の下での数理モデリングと最適化 現実の意思決定状況への応用
企業マネジメント分野	教授	足立 洋 管理会計研究 adachi @pu-hiroshima.ac.jp	中小企業経営における管理会計の役割とその役割を補完する経営管理の実践との関係性について、主にケーススタディの手法を用いて研究している。	<ul style="list-style-type: none"> 予算管理に関する研究 原価計算・原価管理に関する研究 管理会計を中心としたマネジメント・コントロールに関する研究
	教授	栗島 浩二 マーケティング研究 awashima @pu-hiroshima.ac.jp	マーケティング論や流通論の理論的フレームワークを使いながら、実際の企業活動に関する実践的な研究を行う。主に、営業・販売における顧客価値創造に重点をおいている。	<ul style="list-style-type: none"> ブランド理論研究(主として製造業) 流通システム研究(小売業・卸売業、百貨店・商社等を含む) サービスマーケティング研究(サービス業、観光やスポーツマーケティングを含む) 営業革新(業種に関わらず、営業による新規市場開拓や顧客管理、営業組織の改革を研究) マーチャンダイジング(小売店舗のマーケティング、商店街の活性化を含む)

★ 生命システム科学専攻博士課程後期への進学が可能です。

生命システム科学専攻博士課程後期の受験に関しては、当該専攻の学生募集要項を参照してください。

分野	職名	指導教員 研究分野 問い合わせ先	研究分野の概要	主な研究指導テーマ
企業 マネジ メント 分野	教授	張 楓 応用経営史研究 hirokaede @pu-hiroshima.ac.jp	応用経営史研究は、特定の産業・企業もしくは特定地域の産業・企業が直面する今日的課題の解決策を展望することを目的として、経営史の研究手法に立脚してその産業・企業発展の歴史的ダイナミズムの抽出を重視する比較的新しい学問分野である。	<ul style="list-style-type: none"> 近現代日本および東アジアの経済発展に関する歴史研究 産業集積史研究 地域産業史研究 伝統産業・在来産業の歴史研究 中小企業に関する歴史研究
	教授	村上 恵子 ファイナンス研究 keiko @pu-hiroshima.ac.jp	家計や企業のファイナンスに関する意思決定と行動、ならびにファイナンスに関する意思決定を行う上で活用される金融仲介機関の行動について、理論的、実証的に研究する。	<ul style="list-style-type: none"> 企業年金（主に確定拠出年金）に関する研究 銀行行動、銀行経営に関する研究 金融教育と家計の金融資産選択行動に関する研究
	教授	朴 唯新 経営戦略研究 ecventure @pu-hiroshima.ac.jp	企業の経営戦略を、経営資源の構築・配置・再編の視点（Dynamic Capability）より実証研究によって解明する。	<ul style="list-style-type: none"> 日韓の情報家電産業の経営戦略の比較研究 オープンイノベーションによる企業間ネットワークの形成 テキストマイニングを用いた日本企業の経営戦略の変遷など
	教授	山根 智沙子 応用経済研究 yamane@pu- @pu-hiroshima.ac.jp	家計の出生・育児に関する意思決定や、それに影響を与える教育や就業、制度的要因などについて、経済学の視点から理論的・実証的に研究する。また、出生体重とその後の教育成果所得・主観的幸福度との関係や、世代間格差のメカニズムについても取り上げる。	<ul style="list-style-type: none"> 出生体重の決定要因とその帰結に関する研究 世代間格差に関する研究 お小遣いと金銭感覚に関する研究 金融リテラシーと家計の意思決定に関する研究
	准教授	橋上 徹 財務会計研究 t-hashigami @pu-hiroshima.ac.jp	財務会計に関する本質的な考え方、実践手法を体系的に研究するのみならず、最新の財務会計のTOPICs及び経済社会の中で問題とされている事象等にも言及し、「生きた会計」をも研究する。 平成31年度（令和元年度）の主たる研究テーマは、右記のとおりである。	<ul style="list-style-type: none"> 世界規模での巨大大自然災害と保険共済事業の持続的発展に関する総合的研究 役員への利益供与を通じて集団投資スキームを利用して自社企業集団に利益資金還元を行う場合の連結範囲規制と会計監査問題に関する研究 中小企業が資金調達を行う際に必要な会計制度（「結合財務諸表」(Combined Financial Statements)）の研究 IFRS、US/GAAP、日本基準のConvergence/adoptionに関する研究